

取扱説明書

MARUYAMA 二酸化炭素消火器

国家検定合格品

二酸化炭素消火器 該当器種 **CO₂A-5H・7H・10H** ●ストップ付



このたびは、マルヤマ消火器をお買い求めいただきまことにありがとうございました。ご設置、使用される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい設置、正しい使い方をしてください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

写真はCO₂A-10Hです。



- 消火器には適応火災と消火能力単位が表示されています。適応火災はその種の火災に適していることを意味し、消火能力単位は規格基準に基づく消火単位を表示しているもので、これをもって実火災における消火規模を限定することはできません。
- 消火器はあくまで初期消火に威力を発揮しますが、火災規模、状況等により、どんな火災でも消火できるとは限りません。そのため、正しい使用方法に基づいて消火器を使用したにも拘らず消火できなかったことによる人的、物的損害についての賠償の責はご容赦願います。

適応火災

この消火器は油・電気火災に適応します。消火器本体容器のラベルに表示しています。消火器には、適応火災を示す色マークが付いています。お求めの消火器が設置場所の予想される火災の消火に適した性能のものであるかご確認ください。

油火災用



電気火災用

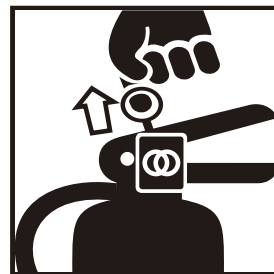


★二酸化炭素消火器は普通火災には適応していません。

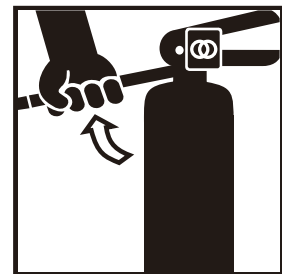
使用方法

消火器本体容器のラベルに表示しています。

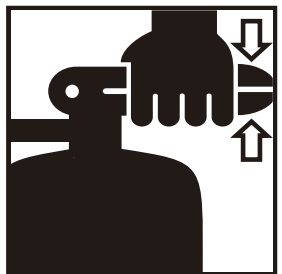
- ① 上レバーの黄色の安全栓を上方向に引き抜く。
- ② ホースをはずし、火元に向ける。(CO₂A-5H・7Hはホースは付いていません。)
- ③ 上下レバーを強く握り、火元を手前からはくようにして放射する。



①安全栓を引き抜く。
PULL



②ホースをはずし火元に向ける。
AIM



③レバーを強くにぎる。
SQUEEZE

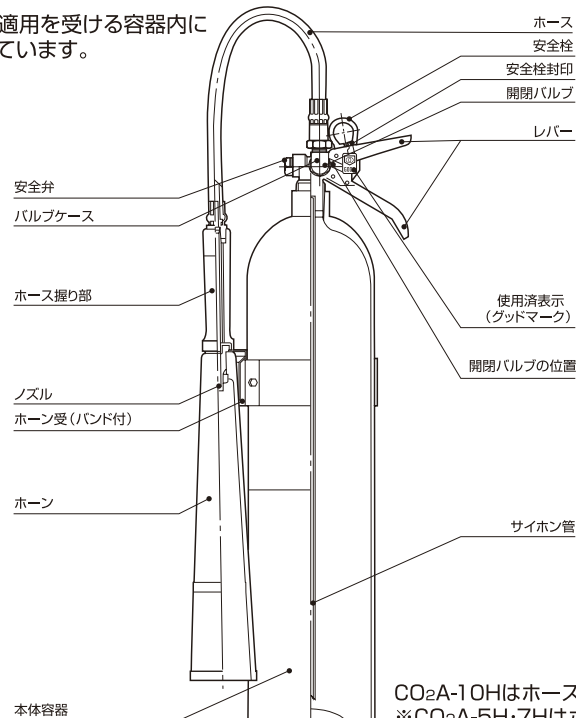
消火器は圧力容器です。取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。

●取扱説明書では、ご使用上の注意内容を見逃し誤った使い方をしたときに生じる危害、損害の程度を「危険」「警告」「注意」で表示しています。

危険	取扱い上容器が破裂し重大な人身事故が発生し、「死亡または重傷などを負う切迫した危険状況を示す」内容です。
警告	設置上及び使用上「死亡または重傷などを負う潜在的な危険状況を示す」内容です。
注意	設置上及び使用上「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

各部のなまえ・構造図

●高圧ガス保安法の適用を受ける容器内に液化炭酸を充填しています。



CO₂A-10Hはホース付です。
※CO₂A-5H・7Hはホースが付いていません。

構造図はCO₂A-10H

CO₂A-5H・7H・10Hはストップ付タイプです。ストップ付は、一度放射させても上レバーから手を離すと放射を途中で一時的に止めることができ有効放射が行えます。放射動作を行い、ストップした消火器の内部圧力は時間の経過と共に下がり、圧力保持はできません。

使用後について

使用済の消火器は、販売店に依頼し速やかに再充填するか新しい消火器を設置してください。絶対に分解しないでください。

消火器の回収・リサイクルについて

※回収、廃棄の際は専門業者又は以下の電話番号にお問い合わせしてください。
※なお回収、廃棄処理には、費用がかかりますので有料処理となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

発売元 **マルヤマエクスセル株式会社**

製造元 **株式会社 丸山製作所**

お問い合わせ先

(株)丸山製作所サポートセンター : 0120-898-114

本社 : 〒101-0047 東京都千代田区内神田3-4-15
[東日本営業所] 東北グループ / 東京・千葉グループ / 名古屋グループ
[西日本営業所] 大阪グループ / 九州グループ

●この商品についてのお問い合わせ、ご相談は弊社販売店または、上記のサポートセンターへご連絡ください。

1.腐食し易い場所、湿気が多い場所、潮風や風雨にさらされる場所に設置しないでください。

2.濡れた床や地面に直接置かないでください。

3.使用温度範囲を超える場所に設置しないでください。

4.狭い密閉した部屋では使用しないでください。
CO₂ガスにより窒息の恐れがあります。

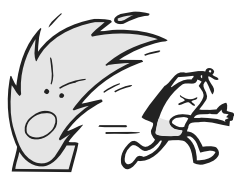
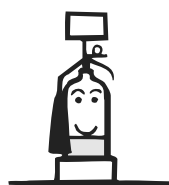
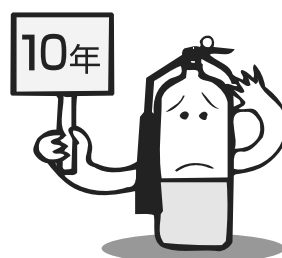
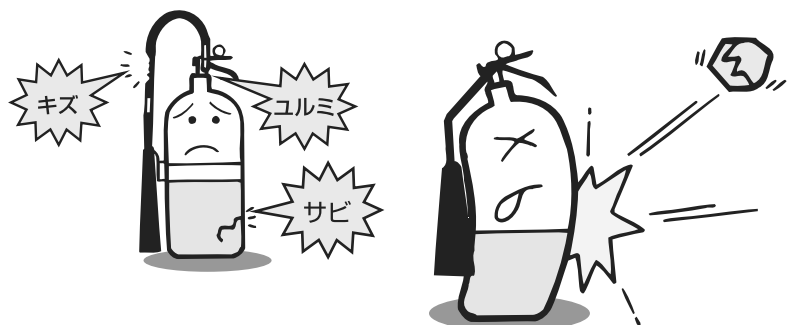
5.絶対に人に向けて放射しないでください。
呼吸困難や危害発生を招く恐れがあります。

6.火元から3m以上離れてから放射を開始してください。

7.避難経路を確保しながら消火してください。

8.設計上の標準使用期限(10年)を超えて使用すると、経年変化によりけがなどの事故になる恐れがあります。

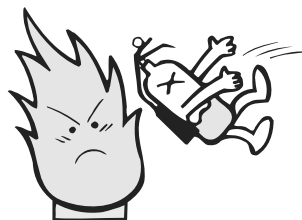
9.6ヶ月ごとに法令で定められた点検を実施してください。



●消火以外の目的(冷却等)に使用しないでください。

7.ホース握り部(CO₂A-10H)はしっかり握って消火してください。
ホース握り部を手放すと放射方向が定まらず消火ができなくなります。

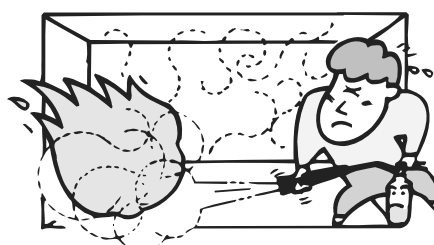
8.消火器は絶対に火中に投げ込まないでください。
消火器が破裂するなど大変危険です。正しい使用方法で消火してください。



9.放射時には本体を垂直にして使用してください。
斜めにするとう射の状態が悪くなります。絶対に逆さにして使用しないでください。

10.電気設備の火災は可能な限り電源を切ってから消火してください。

11.換気の悪い狭い部屋や密閉した部屋では使用しないでください。
消火薬剤(CO₂ガス)や、火災による発生ガスは人体に有害です。吸わないでください。換気の悪い狭い部屋での消火は行わないでください。



1.消火後は、速やかに換気してください。
CO₂ガスが充満しています。吸わないように速やかに換気してください。



2.ガスに関連した火災ではガスの元栓を必ず締めてください。

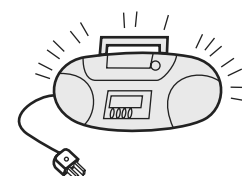


3.消火薬剤を大量に吸ったり、目にかかった場合。
速やかに医師の診察を受けて適切な処置をしてください。



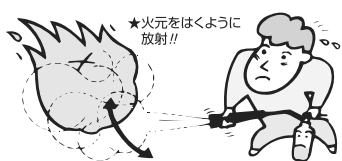
4.消火薬剤が器物にかかった場合。
消火薬剤を放射すると、消火後一時空気中の水分が凍り霧状のものが発生しますが、自然に消えます。また、CO₂ガスは酸化しますので消火薬剤による汚損はありません。

●電気器具は、絶縁性を調べた後、通電してください。



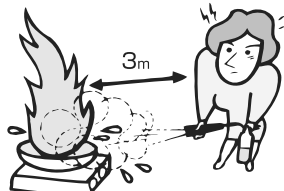
5.消火薬剤の詰め替えは販売店に充填を依頼してください。

使用済表示(グッドマーク)はついていないか



、付き過ぎないようにしてください。

とくに油火災の場合、油の飛散や、炎の吹き返しにより火傷等の恐れがあります。



消火開始時には、3m程度の距離を保ち、炎がおさまるにつれて接近してください。

写真はCO₂A-10Hです。

13.黄色い安全栓、使用済表示(グッドマーク)の付いていない消火器は使用済です。
速やかに販売店へ連絡して再充填するか、新しい消火器に交換してください。